

まかみこども園における認定こども園 自己評価

実施期間	令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日
評価基準	A:かなりできている B:ほぼできている C:あまりできていない D:ほとんどできていない
評価点数	A:5 B:3 C:2 D:1
備考	保育士、職員の全職員から提出された保育士自己評価よりまとめた。

1 評価項目

評価	改善の 必要性
----	------------

■A 教育・保育の計画性

A

- 1 園の保育理念、保育方針が理解できている
- 2 保育所保育指針を理解してる。
- 3 保育課程の理解度。園の保育課程を理解した計画、実施ができている。
- 4 指導計画は、園児の実態を理解したうえ発達に応じた考えをもとに作成できている。
- 5 環境の構成
 - ①安全で清潔感のある環境構成ができている。
 - ②園児が自ら活動、展開していけるような構成ができている。
 - ③園児の目線に配慮した環境構成をしている。
 - ④季節の変化に応じた環境構成をしている。
- 6 保育の計画の評価と反省を行い、次の保育に活かせるように行っている。

1	A	
2	A	
3	A	
4	B	
5		
①	A	
②	B	
③	A	
④	A	
6	A	

■B 教育・保育在り方、乳幼児への対応

B

- 1 健康と安全
 - ①登園時は視診や検温により園児の体調を確かめているか
 - ②体調が悪い場合、静かに寝かせ、検温や適切な処置ができ家庭連絡をしているか
 - ③園内に危険な個所がないか、危険な遊びがないか観察ができている。
- 2 園児の理解
 - ①一人ひとりの園児をよく観察するよう心掛けている。
 - ②乳幼児の子ども同士のかかわりの中で心を察知し、対応ができる。
 - ③園児の理解のため保護者と話ができている。
- 3 指導の関わり
 - ①園児の心を気づ付けたり人権を無視するような言葉や態度がないようにしている。
 - ②園児の気持ちに共感しながら保育士と一緒に遊んでいる。
 - ③園児の話に耳をよく傾け聞いている。
 - ④園児をほめたり、励ましたりして意欲につながるような言葉がけをしている。
 - ⑤園児の個性、性格や特徴に応じた関わりができている。
- 4 保育者同士の協力と連携
 - ①園児のことについて、常に職員間で話し合い、クラスを超えて情報を共有している。
 - ②必要な園児には、職員全体でよく話し合い、共通理解を持って対応しているか。
- 5 食事対応
 - ①子どもの食事が楽しめるよう配慮しているか。
 - ②アレルギー疾患、体調不良を把握し状況に応じた食事が提供されているか。

1		
①	A	
②	A	
③	B	
2		
①	A	
②	A	
③	B	
3		
①	B	
②	B	
③	A	
④	A	
⑤	A	
4		
①	B	
②	B	
5		
①	A	
②	A	

■C 専門家としての資質(能力、良識、適正等)

C

- 1 専門家としての能力、良識、義務
 - ①園児の性格、個性を把握するように努めている。

1		
①	A	

- ②朝と帰りの挨拶は明るく元気に親しみを込めている。
- ③何かをしてもらった感謝の気持ちを言葉に現している。
- ④職務上知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守っている。

②	A	
③	A	
④	A	

2 組織の一員としての在り方

- ①子どもの事やクラスの出来事等で必要なことは、園長や主任に報告、連絡、相談をしている
- ②職員や園の批判を軽はずみにしていない。

2		
①	A	
②	B	

3 保育の楽しみ・喜び

- ①園児のささやかな成長が理解でき、それを喜ぶことができる。

3		
①	A	

4 周りを感じ取れる感性

- ①保育や子育てに関する情報を絶えずとらえようとしている。

4		
①	B	

5 研修と研究

- ①研修会には課題を持って進んで参加している。
- ②園の教材や遊具、機材について基本的な使い方を知っている。
- ③障がいのある幼児に対する保育の在り方を学習している。

5		
①	B	
②	B	
③	B	

■D 子どもの安全

- ①食中毒や感染症に対する予防、発症時には適切に対策をしているか。
- ②事故、天災が発症した場合、速やかに対応できる体制があるか。
- ③不審者の侵入などに対応できる体制、及び訓練をされているか。

D		
①	A	
②	A	
③	A	

■E 保護者への対応

1 情報の発信と受診

- ①クラスや子どもの様子、保育のポイント等をクラスだより等で知らせている。
- ②個々の子どもの様子は、直接話したり連絡帳等を使って伝え合っている。

E		
1		
①	A	
②	A	

2 協力と支援

- ①保護者からの要望、意見は安易な対応をしりせず園長や主任に報告、相談をする。

2		
①	A	

3 守秘義務の遵守

- ①保護者の住所、電話番号など個人情報の管理については園の方針に従っている。

3		
①	A	

4 対応

- ①電話は、手短かに簡潔に要領よく対話するように心がけている。

4		
①	A	

5 クレームへの対応の仕方

- ①保護者からのクレームがあった時は、謙虚に話を聞き、園長に連絡、報告、相談している。

5		
①	A	

■F 地域との関わり

- ①地域の人々と親しく挨拶をかわしている。
- ②卒園した子どもの情報を得るように努めようとしている。
- ③子育て支援の在り方について職員全体で話し合っている。
- ④一時保育のために保育内容や方法に把握しているか。

F		
①	B	
②	B	
③	A	
④	A	

2 全体として評価、今後の課題

年度末に、園内研修で不適切保育の考え方について勉強会を行い、園児の関わり方を改める良い機会ができ保育の資質も向上になるきっかけになった。職員が長く続けられる環境ではあるが、それでも個々の職員の悩みもあり相談対応を迅速にできるよう今後も努めていきたい。園の方針に基づき集団で共に活動する中で支援のいる園児や拘りに強い個性のある園児の個別対応が難しいと考える職員もいる。主幹、中堅職員からの助言やアドバイスの連携があり経験の浅い職員に対して、責任を一人で取り込みすぎないフォロー体制ができていることがよい。